

プレスリリース

杉本博司 アートの起源 | 宗教

2011年8月28日（日）－ 2011年11月6日（日）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

展覧会に関するお問い合わせ及び資料のご請求先：

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／公益財団法人ミモカ美術振興財団

担当＝中田耕市、河内田絵美

〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1

tel:0877-24-7755 / fax:0877-24-7766

e-mail:mimoca_info@mimoca.org

【展覧会概要】

展覧会名： 杉本博司 アートの起源 | 宗教
Hiroshi Sugimoto ORIGINS OF ART | Religion

会場： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

会期： 2011年8月28日（日）－2011年11月6日（日）（71日間） 会期中無休

開館時間： 10時－18時（最終入館 17時30分）

主催： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

助成： 財団法人アサヒビール芸術文化財団、財団法人自治総合センター

協力： 公益財団法人小田原文化財団、ギャラリー小柳

観覧料金： 一般 950円 [760円] 大学生 650円 [520円]（常設展観覧料を含む）
* [] 内は前売り及び20名以上の団体料金
高校生以下または18歳未満・丸亀市内在住の65歳以上・各種障害者手帳お持ちの方は無料

※本展覧会は宝くじの助成を受けて実施しています。

前売券販売場所：

〔丸亀〕 あーとらんどギャラリー（0877-24-0927） オークラホテル丸亀（23-2222） おみやげ SHOP MIU（22-2400） きままや（22-9361）

電子チケットぴあ〔サークルK・サンクス、セブンイレブン〕：Pコード 764-162

【展覧会趣旨】

一年まるごと杉本博司

「杉本博司 アートの起源」、いよいよ最終回です

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）では、1つの美術館で一人のアーティストについて、一年にわたり4つの展覧会を次々に開催するという画期的なプロジェクト「杉本博司 アートの起源」を2010年11月21日より開始しました。初回の「科学」展（2010年11月21日－2011年2月20日）は17,653人、「建築」展（3月6日－5月15日）は12,281人と、合わせて約3万人の来館者を迎え、現在開催中の「歴史」展（5月29日－8月21日）でも、蠟人形となった歴史上の人物を撮影した《肖像写真》などを出品、好評を博しています。

「杉本博司」とは？

杉本博司（1948年東京生まれ）は、ニューヨークを拠点に活動する現代美術家です。中央に水平線をはさみ空と海が上下に半分ずつ写された《海景》という写真作品が特によく知られています。「原始人の見ていた風景を、現代人も同じように見ることは可能か。」という考えをもとに制作されたこの作品は、世界中で絶賛されました。このほか、博物館のジオラマ展示を撮影し、写真の性質を利用していかにも生きているように表現してみせた〈ジオラマ〉シリーズや、映画館のスクリーンに向かってカメラを構え、映画のはじめから終わりまで1本分の光を一枚の写真に収めた〈劇場〉シリーズなど、写真というメディアを追究し、考え抜かれたコンセプトと最高の技術によって生み出した美しくも力強い杉本の表現は、人々を魅了し続けてきまし

た。2009年には世界の優れた芸術家に贈られる高松宮殿下記念世界文化賞を「絵画」部門で受賞、「写真」が絵画芸術として認められた記念すべき出来事として注目を集めました。

この奥深い杉本芸術の全貌を探り、余すところなく堪能していただくために、内容の異なる4つの展覧会を開催しています。

「アート」の起源とは？

“今、読めない先を見るためには、振り返らなければならない時がきたのだ。”

いつの時代も優れたアート（芸術）は未来へつながる新しい道を切り開いてきました。けれどもこの悩める時代、アートはむしろ過去を振り返らなければならない、と杉本は考えています。アートの起源を辿ることで見えてくるもの、それはとりもなおさず人間の意識の起源ではないか、そこにこそ今を生きるヒントがあるのではないかと仰うのです。

意識の起源をさかのぼった杉本は、私たちの心の最も奥底に根ざすものとして4つのキーワードを見つけました。科学、建築、歴史、宗教。これらが4つの展覧会のテーマとなり、「杉本博司 アートの起源」は開催されています。

最終回は「宗教」

「科学」「建築」「歴史」と続いてきた「アートの起源」最終回となる本展では、「宗教」をテーマに、杉本の写真作品やインスタレーションなどをご紹介します。なかでも見どころは、〈海景〉シリーズのイメージをフィルムに焼き付け、内部に収めた新作《海景五輪塔》が展示室にずらりと並ぶインスタレーション。また三十三間堂（蓮華王院・京都）の千体千手観音立像を撮影した《仏の海》では11枚の大判写真によって迫力のある展示がなされます。併せて十一面観音立像（平安時代）など杉本自身が蒐集した貴重な文物も出品されます。本展を通じて、宗教とアートがいかに結びついてきたのかを考え、ひいては人間の想像力や意識の起源に思いを巡らせていただけることでしょう。

【主な出品作】（予定）

《海景》

中央に水平線をはさんで空と海や湖が上下に半分ずつ写された〈海景〉シリーズ。杉本は古代から変わらない風景を海に求め、カリブ海やエーゲ海をはじめ世界中の海や湖を撮影してきました。本展では、この〈海景〉シリーズが自然光の降り注ぐ明るい展示室やエントランスに展示されるのに併せて、平安時代から伝わる十一面観音立像や14世紀のキリスト胸像も展示される予定です。

《海景五輪塔》

《海景五輪塔》は本展で世界初公開となる杉本の新作です。五輪塔は仏教における宇宙の五大元素（地・水・火・風・空）を象徴する形を積み上げた塔のことを指し、本作は極めて透明度の高い光学ガラスによって制作されています。そしてそれぞれの五輪塔の中には《海景》のイメージのフィルムが収められています。

《仏の海》

三十三間堂（蓮華王院・京都）の千体千手観音立像を撮影した作品です。杉本は、後世に付け加えられた装飾を取り除き、建立時と同じ光の条件で撮影を行いました。当時の貴族も目にしたであろう千体仏が整然と

並ぶ光景を、本展では迫力のある大判写真 11 枚によってご覧いただけます。

※出品作品例の広報用画像をご希望の際は、データにてお送りいたしますので、担当までメール（mimoca_info@mimoca.org）にてお問い合わせください。なお、著作権の都合上、画像をご掲載の際は必ずクレジット等のご記載もあわせてお願い申し上げます。

【関連プログラム】

■「杉本博司 アートの起源 | 宗教」 オープニング・イベント

首藤康之 ダンス・パフォーマンス [KANNON]

「杉本博司 アートの起源 | 宗教」の関連イベントです。杉本博司が作り出す展示空間の中で、トップダンサーとして世界で活躍する首藤康之が踊ります。終了後には杉本と首藤の対談（アーティスト・トーク）を開催します。

日時：2011年8月28日（日） 19：00 開場／19：30 開演（21：00 終演予定）

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（※展覧会会場でのパフォーマンスのため、ステージと客席の区別がなく、一部もしくは全ての方が立ち見となる可能性があります。）

出演：首藤康之（バレエダンサー）

料金：一般 4,000 円（年間パスポートをお持ちの方、高校生以下、MIMOCA FRIEND 会員は 3,500 円 ※観覧料込）

販売枚数：150 枚限定、お 1 人様 2 枚まで

【チケットのご購入方法】

2011年7月23日（土）10：00より発売開始

1. 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 1F 受付にて販売

2. メールにて購入受付

下記の書式にてお申し込みいただき、料金は当日窓口にてお支払いください。

宛先：mimoca_info@mimoca.org

件名：首藤康之ダンス購入申込

お名前（フリガナ）、メールアドレス（mimoca.org からのメール受信が可能なアドレス）、ご住所、お電話番号、受付枚数（お 1 人様 2 枚まで）

※お名前、御住所、お電話番号は必ず記載ください。記載漏れがある場合はご予約いただけませんのでご注意ください。

■キュレーターズ・トーク

本展担当キュレーター（中田耕市、河内田絵美）が展示室にて展覧会の見どころをお話しします。

日時：会期中の日曜日及び第二土曜日 各日 14:00-

参加無料、ただし展覧会チケットが必要です。

申込み不要、当日 1 階受付前にお集まりください。

■地域連携プログラム 「アートの起源サポーター」募集

一年間にわたって一人の作家を紹介するという画期的な取り組みを進めるにあたり、展覧会を応援いただく

「**アートの起源サポーター**」を募集しております。ご応募いただいた方には杉本博司作品《放電場 128》(2009)をあしらったサポーター限定バッジと、特製「千客万雷（せんきゃくばんらい）カード」をお渡しします。特別割引券となっているこのカードを友人・知人の方に配布いただき、より多くの方に本展をご覧いただけるよう周知にご協力いただきます。この地域連携プログラムを通して、本展を基点に人と人との交流の場がさらに広がっていくことを企図しています。

【応募資格】 どなたでもご入会いただけます。

【応募期間】 募集中（千客万雷カードがなくなり次第終了とさせていただきます。）

【特典】

1. 会員証として杉本博司作品《放電場 128》をあしらったサポーター限定バッジの贈呈
2. 観覧料 20%割引
3. 展覧会カタログ 10%割引
4. 千客万雷カード持参の方がご来館されると、1枚につき1口として、「杉本博司 アートの起源」関連景品が当たる「サポーター大抽選会」に自動的に応募（前期5月15日までの抽選結果は当館ホームページをご覧ください。後期5月29日-11月6日の景品や抽選日等の詳細は後日発表いたします）。

【応募方法】 応募用紙に必要事項を記入いただき、美術館1階受付にてご入会ください。

■コーポレート・メンバーシップ・プログラム

「杉本博司 アートの起源」の会期中、毎月第2土曜日に実施する「コーポレーション・デイ」にご協賛いただける企業（法人及び個人事業主）を募集します。ご協賛企業のサポートで地域住民の皆様を展覧会にご招待いただく「コーポレート・メンバーシップ・プログラム」は、企業の地域貢献活動を同時にアピールいただける魅力的なプログラムとなっております。

〈コーポレーション・デイとは？〉

4社または4口以上のコーポレート・メンバー様にご協賛いただくことによって、毎月第2土曜日に地域の方々を当館にご招待するという地域連携プログラムです。ご来館の方には当日無料で展覧会をご覧いただけます。

【ご協賛金】 1口5万円

【特典】

1. 代表者を含む5名様を特別内覧会へご招待
2. 当館公式ウェブサイト及びメールニュース等での告知
3. 協賛看板の設置：コーポレーション・デイ当日、美術館1階ゲートプラザに設置する看板に社名（またはロゴ）を掲示。4口同時にお申込みの場合は1社にて専有。
4. 広報媒体の配付：コーポレーション・デイ当日、来館者全員に広報媒体を配付。

【申込方法】 電話（0877-24-7755）またはメール（mimoca_info@mimoca.org）でお申込ください。9月以降については先着順にてご応募受付中です。

【留意事項】

1. 協賛金はコーポレーション・デイにご来館いただいたお客様の観覧料及び施設運営費に充填させていただきます。
2. コーポレーション・デイの実施には合計4社または4口以上のお申込みが必要です。

【実施状況】

| | | |
|-------------------|---|-------------|
| 2010年12月11日（終了） | ご協賛：四国化成工業株式会社 平和写真印刷株式会社 | 観覧者数：753名 |
| 2011年1月8日（終了） | ご協賛：社団法人香川県資源研究所 | 観覧者数：1,005名 |
| 2011年2月12日（終了） | ご協賛：協和化学工業株式会社 | 観覧者数：1,356名 |
| 2011年4月9日（終了） | ご協賛：秋山興産株式会社 | 観覧者数：1,604名 |
| 2011年5月14日（終了） | ご協賛：大倉工業株式会社 今治造船株式会社 | 観覧者数：1,241名 |
| 2011年6月11日（終了） | ご協賛：おみやげSHOP ミュー 株式会社ベネッセホールディングス 社会福祉法人 禱友会 紅山荘 | 観覧者数：1,112名 |
| 2011年7月9日（実施決定） | ご協賛：株式会社ベネッセホールディングス 日本通運株式会社香川支店高松引越美術品センター | |
| 2011年8月13日（実施決定） | ご協賛：株式会社ダイエイハウス 子供絵画造形教室アトリエK 日本通運株式会社香川支店高松引越美術品センター Hair space Jaxon | |
| 2011年9月10日（1口募集中） | | |
| 2011年10月8日（4口募集中） | | |

※ 先着順にてお受付いたします。規定口数（5口）に達し次第、締め切らせていただきますので予めご了承ください。

【展覧会等のお知らせ】

■同時開催 常設展

猪熊弦一郎展

会期：2011年8月28日（日）－2011年11月6日（日）

■施設改修工事に伴う休館

2011年11月7日（月）－2012年2月3日（金）（ただし11月23日（水・祝）は開館20周年記念イベントの為開館）

※休館期間は変更になることがあります。ご来館を予定している方は、ホームページ等でご確認ください。

■次回開催 特別展

猪熊弦一郎展 紙に描いた作品から（仮称）

会期：2012年2月4日（土）－2012年3月4日（日）（予定）

[作家略歴]

杉本博司 / Hiroshi Sugimoto

〈略歴〉

1948 年 東京都に生まれる
1970 年 立教大学経済学部卒業
1972 年 ロサンジェルスのアートセンター・カレッジ・オブ・デザイン卒業
1974 年 ニューヨーク移住
1988 年 毎日芸術賞受賞
2001 年 ハッセルブラッド国際写真賞受賞
2009 年 高松宮殿下記念世界文化賞受賞
2010 年 秋の紫綬褒章受賞
ニューヨーク在住

〈主な個展〉

1995 年 「杉本」(メトロポリタン美術館、ニューヨーク/世界巡回)
2000 年 「杉本 肖像写真」(ドイツ・グッゲンハイム、ベルリン/グッゲンハイム美術館、ビルバオ/ソロモン・R・グッゲンハイム美術館ソーホー、ニューヨーク)
2001 年 「杉本博司 時の建築」(ブレゲンツ美術館、ブレゲンツ)
2003 年 「杉本博司 建築」(シカゴ現代美術館、シカゴ)
2004 年 「杉本博司 大ガラスが与えられたとせよ」(カルティエ現代美術財団、パリ)
2005-07 年 「杉本博司 時間の終わり」(森美術館、東京/「杉本博司」と題しアメリカ巡回)
2006 年 「観念の形 数理模型」(アトリエ・ブランクーシ ポンピドー・センター、パリ)
2008-09 年 「杉本博司 歴史の歴史」(金沢21世紀美術館、金沢/国立国際美術館、大阪)
2009 年 「杉本博司-光の自然」(IZU PHOTO MUSEUM、三島)
ほかにグループ展多数出品

〈主な所蔵先〉

ニューヨーク近代美術館 (MoMA) (ニューヨーク)
メトロポリタン美術館 (ニューヨーク)
グッゲンハイム美術館 (ニューヨーク)
テートギャラリー (ロンドン)
ポンピドー・センター (パリ)
東京国立近代美術館
東京都写真美術館
国立国際美術館 ほか多数

〈主な著作等〉

・著作

『苔のむすまで』(新潮社、2005年)
『現な像』(新潮社、2008年)

・作品集

『TIME EXPOSED HIROSHI SUGIMOTO』(クストハレ・バーゼル、1995年)
『SUGIMOTO PORTRAITS』(グッゲンハイム美術館、2000年)
『HIROSHI SUGIMOTO: ARCHITECTURE OF TIME』(クストハウス・ブレゲンツ、2002年)
『Hiroshi Sugimoto: Architecture』(シカゴ現代美術館、2003年)
『Hiroshi Sugimoto CONCEPTUAL FORMS』(カルティエ現代美術財団、2004年)
『HIROSHI SUGIMOTO』(森美術館、2005年)
『歴史の歴史』(新素材研究所、2008年)
『杉本博司-光の自然』(IZU PHOTO MUSEUM、2009年)